

2. 特長

★USBメモリでカンタン勤怠管理！

出退勤データをUSBメモリでパソコンに取り込み、付属の勤怠ソフト「勤たんQR II」で、勤怠管理ができます。

また「勤たんQR II」で簡単にタイムレコーダーの設定もできます。

★コンパクトなボディに大型デジタル時計表示！

コンパクトサイズなので置き場所を選びません。しかも大型バックライト付きデジタル表示を装備。時刻はもちろん、日付や曜日の見やすさにも配慮したシンプルなデザインです。

★使い方はとってもカンタン！

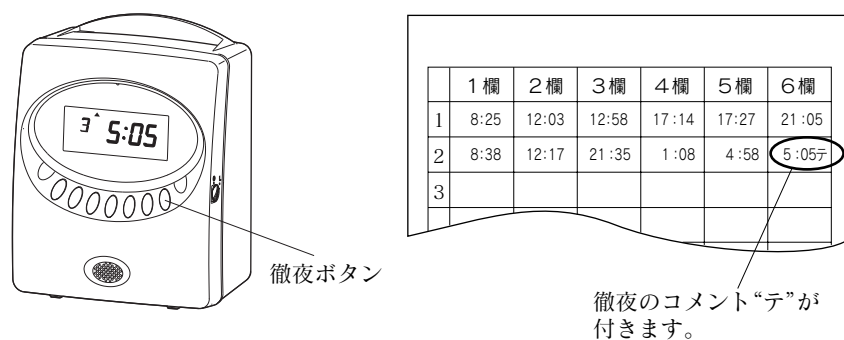
「出勤」や「退勤」などの該当するボタンを押してタイムカードを入れれば、自動的にカードを引き込んで現在の時刻を印字します。印字後は自動排出されます。

★始業時刻、就業時刻、休憩時間などをお知らせできるメロディー機能を内蔵！

「勤たんQR II」でプログラムを設定して、始業や就業、休憩時にメロディーを鳴らすことができます。また、外部時報を接続することもできます。

★徹夜勤務に対応！24時間営業にもピッタリ！

徹夜勤務の場合、「徹夜」ボタンを押してタイムカードを入れれば、出勤日と同じ日付の印字段に「テ」の文字をつけて退勤時刻を印字します。



★一日最大6欄印字！

一日に6回まで印字ができるので、休憩や外出、残業などもしっかり記録できます。

★印字パターンは4種類から選択！

印字パターンは「1.日付＋時刻」、「2.曜日＋時刻」、「3.大きな文字の時刻」、「4.AM/PM付時刻」の4種類。週単位で確認したい場合は「2.曜日＋時刻」を、時刻をハッキリ確認したい場合は「3.大きな文字の時刻」というように、お客様のご都合に合わせた印字パターンが選択できます。

★自動欄移動でボタン操作が不要です！

「出勤」ボタンや「退勤」ボタンを押さなくても、自動で印字欄を選択することができます。

★パスワードの設定で改ざん防止！

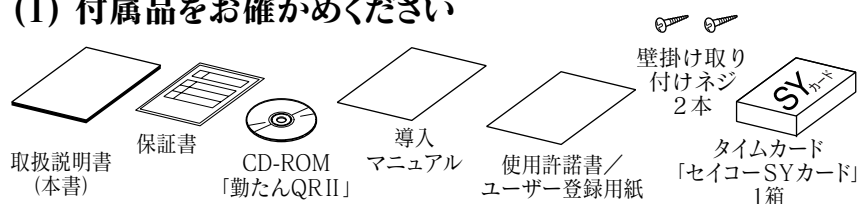
4ケタのパスワードを設定することで、管理者以外による不正な改ざんを防ぐことができます。

★自動サマータイム機能も搭載！

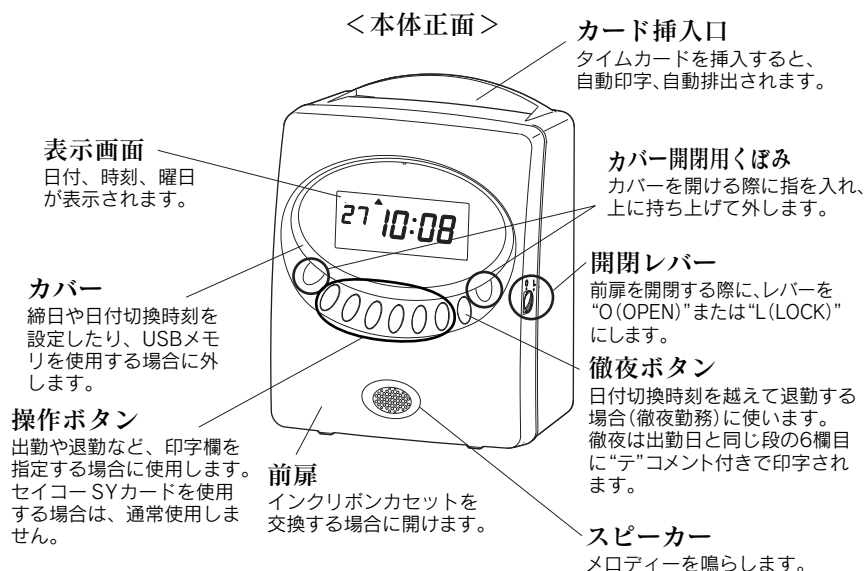
サマータイムが導入されても安心。「勤たんQR II」で、自動サマータイム機能を設定することができます。

3. ご使用になる前に

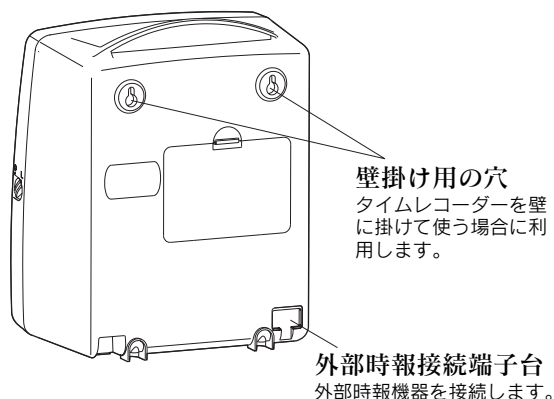
(1) 付属品をお確かめください



(2) 各部の名称とはたらき(本体:QR-7550)



< 本体背面 >



重要!

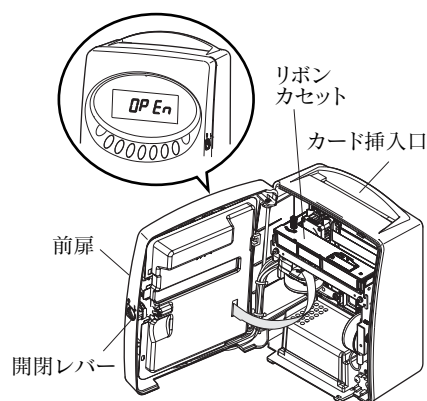
本製品にはUSBメモリが
付属されていません。
ご利用になる前に、USB
メモリをご用意ください。

●リボンカセットを交換する場合…前扉を開けます。

リボンカセットを交換するときは、下記の手順で前扉を開閉してください。

(操作手順)

- ①開閉レバーを“O (OPEN)”に合わせます。
- ②前扉を開きます。
- ③リボンカセットを交換後、前扉を閉じます。
- ④開閉レバーを“L (LOCK)”に合わせます。



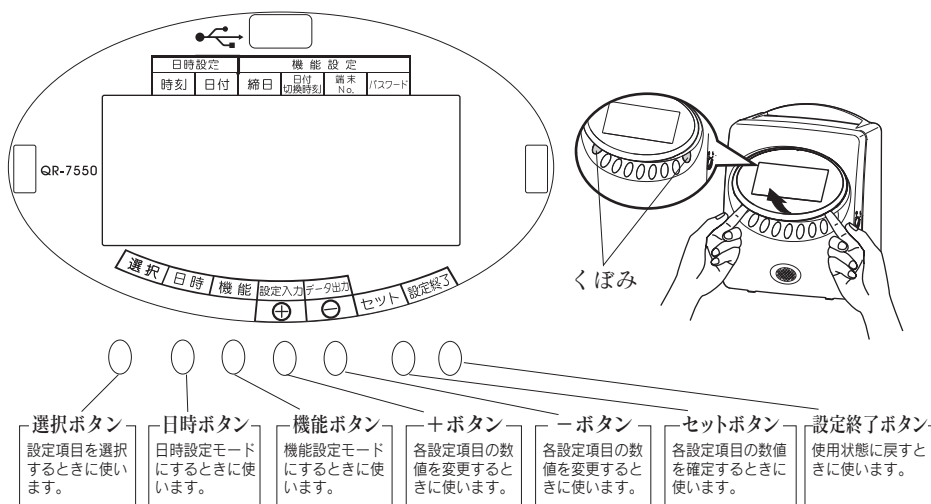
重要!

開閉レバーを“O (OPEN)”に合わせたまましていると、タイムレコーダーが動作しなくなります。前扉を閉めた後は、必ず開閉レバーを“L (LOCK)”に合わせてロックしてください。



設定については「4. 設定のしかた」(9ページ)、リボンカセットの交換については「9. リボンの交換」(35ページ)をご参照ください。

●締日や日付切換時刻などを設定したりUSBメモリを使用する場合…カバーを外します。



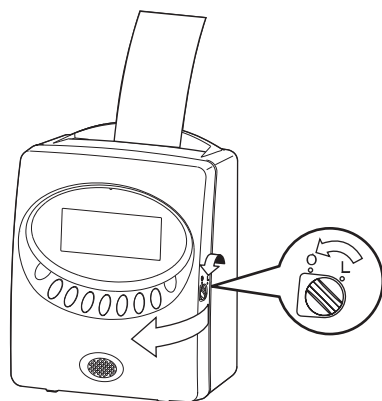
(3) タイムレコーダー内部のパッドを外してください

タイムレコーダー内部には、輸送時の振動などから製品を保護するためのパッドが入っています。

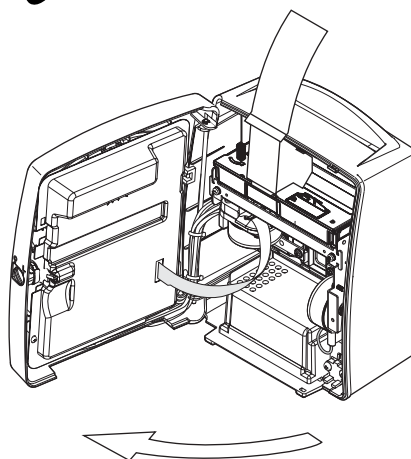
! 電源を入れる前に必ずパッドをタイムレコーダーから抜いてください。

※ご使用时、パッドは不要です。

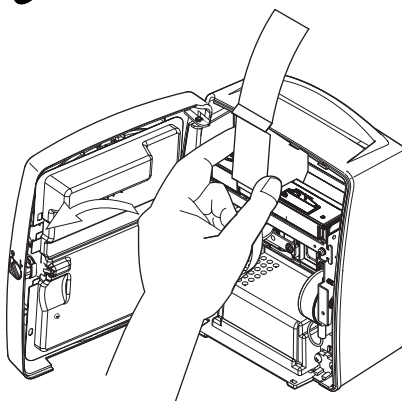
1 タイムレコーダー側面にある開閉レバーを“O (OPEN)”に合わせます。



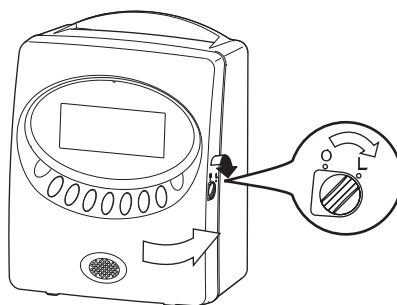
2 前扉を開きます。



3 “パッド”を抜きます。



4 前扉を閉めて、開閉レバーを“L (LOCK)”に合わせます。



(4) 壁掛けの方法

付属のネジを使って、タイムレコーダーを壁に掛けることができます。壁に掛けて使用する場合には、次のようにしてください。

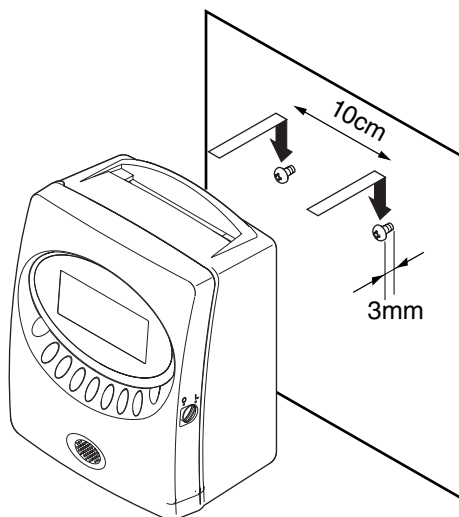
- 1 付属の壁掛け取り付けネジ2本を、横10cmの間隔で壁に取り付けます。このときネジの頭を3mmほど出して、取り付けてください。
- 2 タイムレコーダー背面の壁掛け用の穴を使って、ネジに引っかけます。

重要!

タイムレコーダーが壁にしっかりと掛っていることを確認してください。



付属のネジは木造の厚い壁や木の柱でご使用されることを前提としており、それ以外の条件の場所ではご使用にならないようにしてください。タイムレコーダーが落下してお客様がケガをされたり、本体の故障原因となるおそれがあります。



設置について

重要!

次のような場所でのご使用は避けてください。
タイムレコーダーが正常に動作しなくなるおそれがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所または常時振動が発生する場所
- 気温が-5℃以下や、45℃以上の場所
- 化学薬品やオゾンなどの影響をうける場所

4. 設定のしかた

時刻や日付などタイムレコーダーが動作するために必要な事柄は、あらかじめ設定してありますので、パッドを外した後、**電源を入れてすぐお使いいただけます。**

工場出荷時の設定

- ・ 縮日 〈初期設定：月末締め〉 ・ 日付切換時刻 〈初期設定：5:00〉
- ・ 印字パターン 〈初期設定：1.日付+時分〉 ・ 外部時報 〈初期設定：5秒間〉

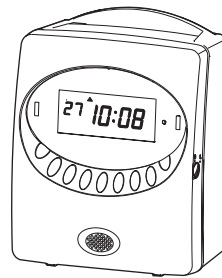
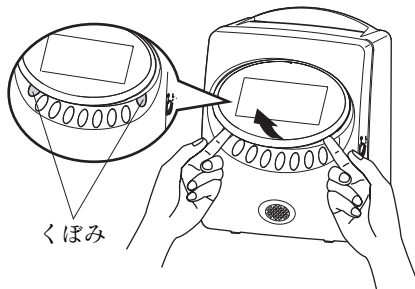
そのままの状態ですぐにお使いいただけますが、縮日などが実際にご使用いただく場合と異なるときには、設定を変更してください。

● 設定の準備

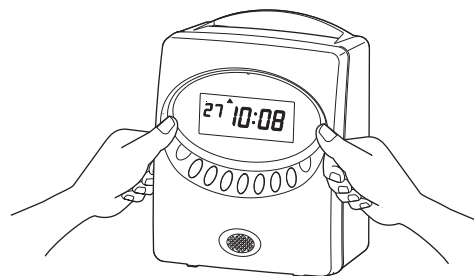
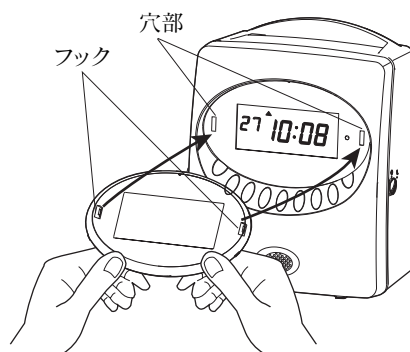
縮日や時刻などを設定する前に、“カバー”を外して設定できる状態にします。

- ❗ 設定するときは、コンセントに電源プラグをさしこみ、通電した状態で行ってください。

- ❶ カバー下部の左右2カ所のくぼみに指を入れ、手前に引くようにしてカバーを外します。
- ❷ 表示画面を見ながら、“操作ボタン”を使うことにより設定ができます。



- ❸ 設定終了後は、カバー裏面にあるフックをタイムレコーダーの穴部に差し込みます。
- ❹ カバー下部の両端を押さえて、しっかりと押し込みます。



● 設定の手順

各設定の詳細については次ページ以降をご覧ください。

日時設定モード

日頃の時間の修正などに設定します。



選択 ボタンと **日時** ボタンを同時に約3秒間押して設定モードに入ります。

時刻の設定



あらかじめ時刻が設定されていますが、時刻が進んだり、遅れたりしたときに操作してください。

日付の設定



あらかじめ年(西暦)、月、日は設定されていますので、あらためて設定する必要はありません。

機能設定モード

締日や日付切換時刻などを設定します。



選択 ボタンと **機能** ボタンを同時に約3秒間押して設定モードに入ります。

締日の設定



工場出荷時の設定は“31(月末締)”になっています。締日が月末以外の場合は、締日の設定を変更してご使用ください。

日付切換時刻の設定



タイムカードの印字を1段下げて、次の日の段に切り換える時刻を設定します。

パスワードの設定



改ざん目的などの故意の時刻修正や設定の変更を防止するために4桁のパスワードを設定できます。

端末No.の設定



タイムレコーダーを複数使用するときには端末No.の設定をします。

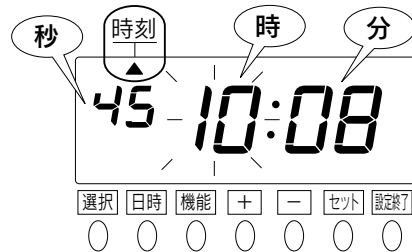
●日時設定モード

時刻の設定

あらかじめ現在時刻に設定されています。時刻が進んだり、遅れたりした時は修正してください。またオールクリア動作などで、初期状態に戻した場合は、あらためて設定してください。時刻表示は24時間制です。

 「オールクリア」(21ページ)をご参照ください。

例 10時8分を10時9分に変更する場合



1 選択ボタンと日時ボタンを同時に約3秒間押します。

日時設定モードになります。画面に表示されている“▲”が「時刻」の項目を指し、“時:分”の“時”が点滅します。

点滅しているところが変更できます。



2 例では“時”は10時のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。これで10時が設定できました。

この時、表示の点滅は“時”から“分”に移ります。

また、“秒”は“00”秒になります。



3 時刻の“分”を変更します。

↑ボタンを押して、“09”分に合わせ、次にセットボタンを押します。この時、“秒”が進みだします。



4 設定状態からご使用状態に戻すため、設定終了ボタンを押します。これで設定は終了です。

表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。

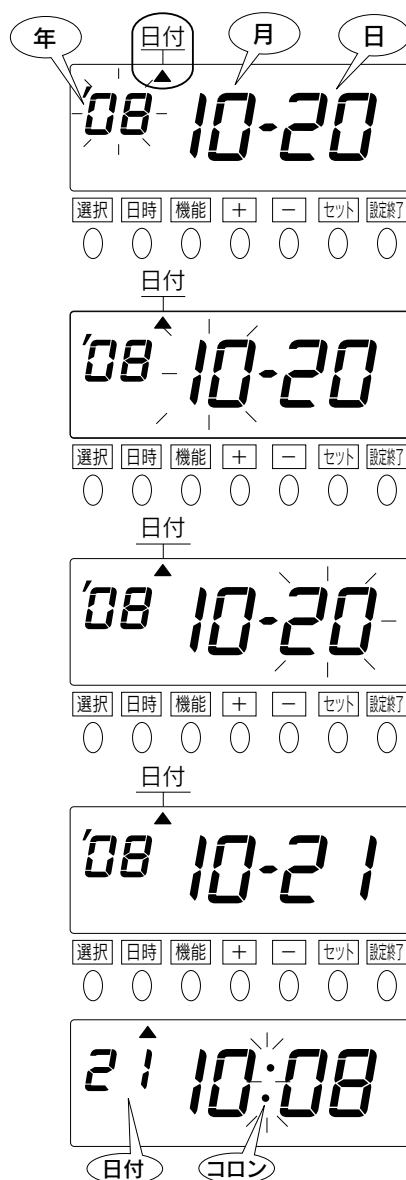
カバーをつけてご使用ください。

日付の設定

あらかじめ年(西暦)、月、日は設定されています。(あらためて設定する必要はありません。) オールクリア操作などで、初期状態に戻した場合は、あらためて設定してください。

📖 「オールクリア」(21ページ)をご参照ください。

例 2008年10月20日を同年同月21日に変更する場合



① 選択ボタンと日時ボタンを同時に約3秒間押します。

日時設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「時刻」に合います。選択ボタンを押して、“▲”を「日付」に合わせてください。“年”が点滅します。年は西暦下2桁で表示されます。

点滅しているところが変更できます。

② 例では、“年”は2008年のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。

これで2008年が設定できました。この時、表示の点滅は“年”から“月”に移ります。

③ 例では“月”は10月のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。

これで“10”月が設定できました。この時、表示の点滅は“月”から“日”に移ります。

④ “日”を変更します。

⊞ボタンを押して“21”日に合わせ次にセットボタンを押します。これで“21”日が設定できました。

⑤ 設定状態からご使用状態に戻すため、設定終了ボタンを押します。これで設定は終了です。

表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

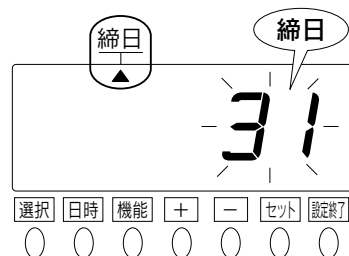
●機能設定モード

— 締日の設定 —

工場出荷時の設定は“31(月末締)”になっています。
 ご使用になるタイムカードの締日に合わせて設定してください。
 締日が月末以外の場合は、設定を変更してください。
 締日が変更されると、設定終了後に印字位置などの打刻情報がクリアされます。
 大の月、小の月によらず、月末締めの場合は締日“31”日のままでご利用いただけます。

例 月末締め(31日)を20日締めに変更する場合

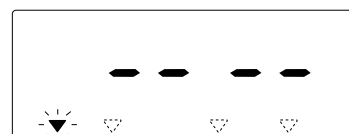
※月末締めは“31”と設定します。



- 1 **選択ボタンと機能ボタンを同時に約3秒間押します。**
機能設定モードになります。
画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。



- 2 **⊞ボタンを押して、“20”日に合わせ、次に[セット]ボタンを押します。**
これで“20”日が設定できました。

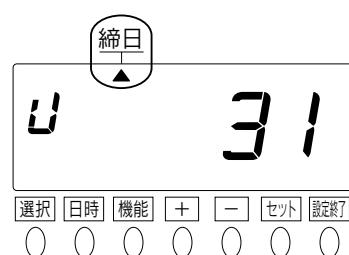


- 3 **設定状態からご使用状態に戻すため、[設定終了]ボタンを押します。**
これで設定は終了です。
打刻情報のクリア中は左図の表示になります。



- ④ 表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

「勤たんQR II」との連携



- ① USBメモリを使って「勤たんQR II」での設定をタイムレコーダーに入力しますと、本体での設定変更が禁止され、左図のように「u」が表示されます。
- もし設定を変更したい場合は、「勤たんQR II」で変えるか、オールクリア(21ページ)操作で初期状態に戻してから、あらためて設定してください。

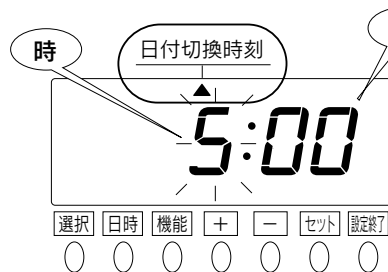
— 日付切換時刻の設定 — **重要!**

日付切換時刻とは、タイムカードの印字を1段下げて、次の日の段に切り換える時刻のことです。

あらかじめ5:00 に設定されていますので、この時刻に勤務されている従業員がいない場合は、あらためて設定する必要はありません。

また、日付切換時刻をまたいで退勤する場合には、徹夜ボタンを押してからタイムカードを入れてください。

例 日付切換時刻を5:00から7:00に変更する場合



- 1 選択ボタンと機能ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。選択ボタンを押して“▲”を「日付切換時刻」に合わせてください。

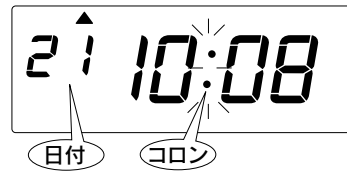
点滅しているところが変更できます。



- 2 +ボタンを押して“7”時に合わせ、次にセットボタンを押します。
これで“時”が設定できました。この時表示の点滅は“時”から“分”に移ります。



- 3 例では“分”は“00”分のまま変更しませんので、このままもう一度セットボタンを押します。これで“00”分が設定できました。



- ④ 設定状態からご使用状態に戻すため、「設定終了」ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

「勤たんQR II」との連携



- ① USBメモリを使って「勤たんQR II」での設定をタイムレコーダーに入力しますと、本体での設定変更が禁止され、左図のように「u」が表示されます。もし設定を変更したい場合は、「勤たんQR II」で変えるか、オールクリア(21ページ)操作で初期状態に戻してから、あらためて設定してください。

パスワードの設定／解除

改ざん目的などの故意の時刻修正や設定の変更を防止するために、4桁のパスワードを設定できます。

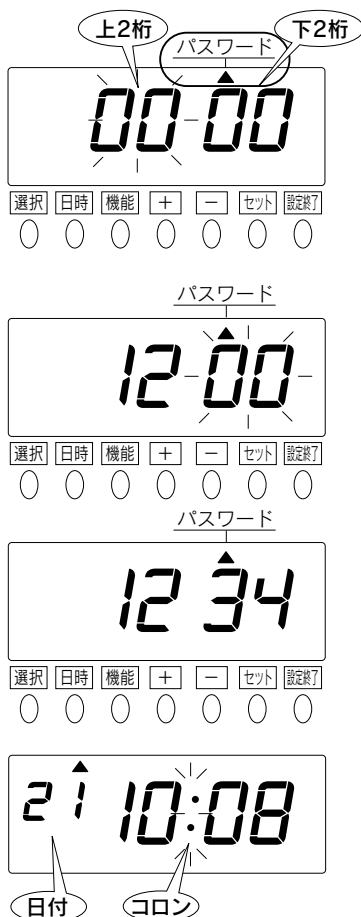
●パスワードを設定するには

パスワードは“0001～9998”までの数字で設定してください。“0000”及び“9999”は設定できません。

重要!

パスワードを設定した場合は、パスワードを入力しないと、時刻修正や設定を変更できません。

例 パスワードを“1234”に設定する。



① 選択ボタンと機能ボタンを同時に約3秒間押します。

機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「締日」に合います。選択ボタンを押して、“▲”を「パスワード」に合わせてください。

点滅しているところが変更できます。

② 田ボタンを押して表示の点滅を“12”に合わせ、次にセットボタンを押します。このとき表示の点滅は“上2桁”から“下2桁”に移ります。

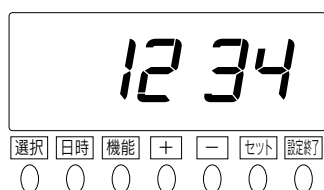
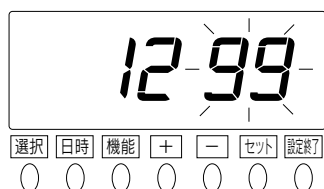
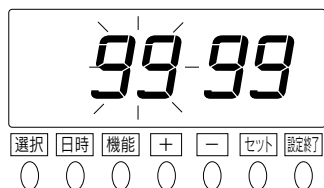
③ 田ボタンを押して表示の点滅を“34”に合わせ、次にセットボタンを押します。これでパスワードの設定ができました。

④ 設定状態からご使用状態に戻すため、設定終了ボタンを押します。これで設定は終了です。表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。カバーをつけてご使用ください。

●パスワードを設定した後、他の設定内容を変更するには

パスワードを設定した場合は、パスワードを入力しないと、時刻、修正や各種設定の変更、USBメモリの使用ができません。パスワードは忘れないように管理してください。

例 パスワードが“1234”の場合



① 選択ボタンと日時ボタン(日時設定モード)、または選択ボタンと機能ボタン(機能設定モード)を同時に約3秒間押します。
“9999”が表示され、上2桁が点滅します。

② +ボタンを押して、設定したパスワードの上2桁(ここでは“12”)に合わせ、セットボタンを押します。
このとき、表示の点滅はパスワードの下2桁に移ります。

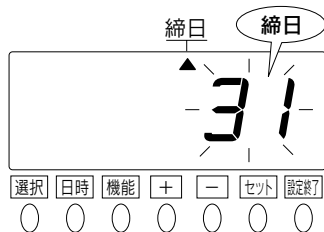
③ +ボタンを押して、設定したパスワードの下2桁(ここでは“34”)に合わせ、セットボタンを押します。

●日時設定モードの場合

※表示時刻が10時8分45秒の場合



●機能設定モードの場合

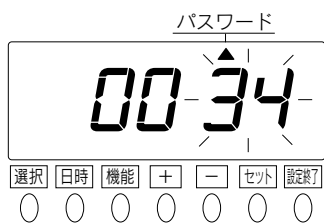


これにより、日時設定モードの場合は「時刻」の設定画面に、機能設定モードの場合は「曜日」の設定画面になり、設定の変更が可能になります。

●パスワードを解除するには

設定したパスワードを入力後、“0000”を設定することにより、パスワードを解除できます。

例 パスワード“1234”を解除する。



- ① **選択**ボタンと**機能**ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになり、“9999”が表示されます。前ページの②～③の操作をした後に、**選択**ボタンを押して、画面に表示されている“▲”を「パスワード」に合わせてください。左図のように表示され、パスワードの上2桁が点滅します。

点滅しているところが変更できます。

- ② **+**ボタン押して、表示の点滅を“00”に合わせ、**セット**ボタンを押します。
このとき表示の点滅は“上2桁”から“下2桁”に移ります。
- ③ **+**ボタンを押して、表示の点滅を“00”に合わせ、**セット**ボタンを押します。これでパスワードを解除できました。

- ④ 設定状態からご使用状態に戻すため、**設定終了**ボタンを押します。
これで設定は終了です。
表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。
カバーをつけてご使用ください。

重要!

パスワードを忘れてしまった場合は、後述の「オールクリア」を行ってください。
なお、オールクリアを行うと、各設定項目は初期の状態に戻りますので、あらためて設定し直してください。日付や時刻も設定してください。

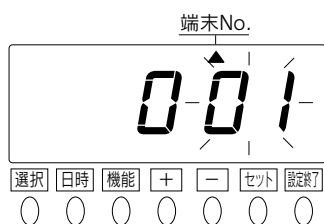
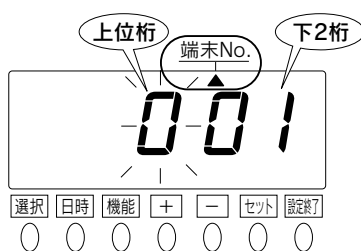


「オールクリア」(21ページ)、
「4.設定のしかた」(9ページ)をご参照ください。

— 端末No.の設定 —

端末No.とは複数のタイムレコーダーをお使いになる場合、それぞれのタイムレコーダーを区別するために設定する番号のことです。
工場出荷時の設定は“001”になっています。

例 端末No.を“001”番から“002”番に変更する場合



- 1 選択ボタンと機能ボタンを同時に約3秒間押します。
機能設定モードになり、画面に表示されている“▲”が「縮日」に合います。
選択ボタンを押して、“▲”を「端末No.」に合わせてください。

点滅しているところが変更できます。

- 2 例では上位桁は“0”で変更しませんので、このままもう一度セットボタンを押します。
このとき表示の点滅は“上位桁”から“下2桁”に移ります。

- 3 田ボタンを押して“02”に合わせ、次にセットボタンを押します。
これで端末No.の設定ができました。

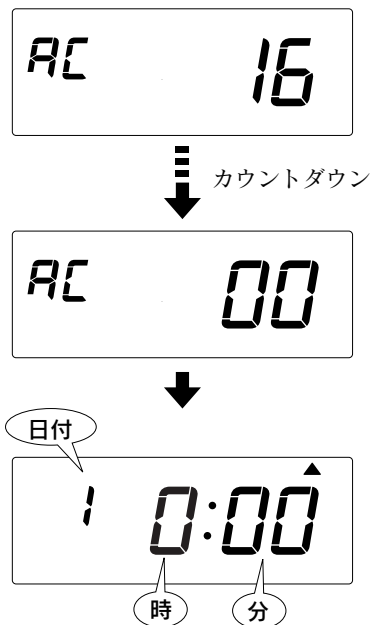
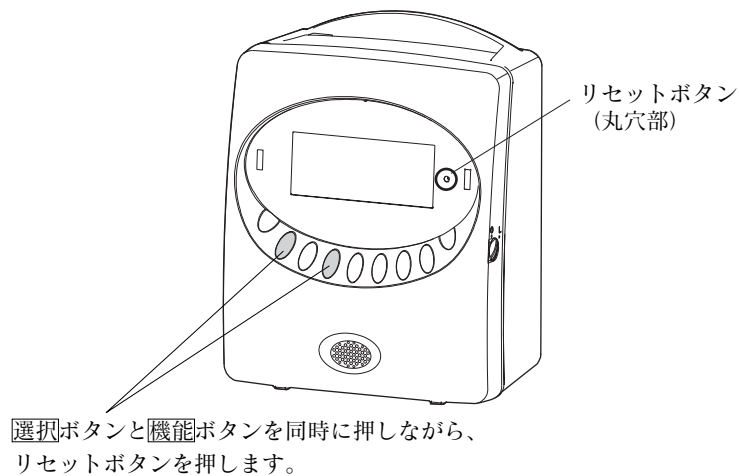
- 4 設定状態からご使用状態に戻すため、設定終了ボタンを押します。
これで設定は終了です。
表示は時刻のコロンが点滅し、ご使用状態に戻りました。
カバーをつけてご使用ください。

— オールクリア —

すべての設定を初期の状態に戻したいときに行います。

注意 オールクリアすることにより、お客様が設定した**内容と出退勤データは消えてしまいます**ので、ご注意ください。日付や時刻も設定してください。

 「4.設定のしかた」(9ページ)をご参照ください。



選択ボタンと変更ボタンを同時に押し
ながら、先の細いものでリセットボタン
を押すと、表示は左図のようになり、
設定は初期状態になります。

※「日時設定モード」(11ページ)で時
刻と日付は必ず設定し直してくだ
さい。

● 設定一覧表

時刻／機能設定一覧を以下に示します。

○ 本体だけで設定可能 ◇ 「勤たんQR II」と本体の両方で設定可能

◆ 「勤たんQR II」だけで設定可能

	印	設定項目	初期値	設定値範囲	備考
時刻設定	○	時刻	0:00	0:00～23:59	工場出荷時に設定済
	○	日付	2000/1/1	2000/1/1～2099/12/31	〃
機能設定	◇	締日	31(日)	1～31	〃
	◇	日付切替時刻	5:00	0:00～23:59	〃
	○	端末No.	001	001～255	〃
	○	パスワード	未設定(0000)	0001～9998	0000は設定なし 9999は使用不可
	◆	印字フォーマット	1(日付+時:分)	1～4	※1
	◆	オートサマータイム	未設定	1/1～12/31	
	◆	週間プログラム	未設定	—	※2
	◆	外部時報の吹鳴時間	5(秒)	1～30	※3

※1 印字フォーマット

設定値	内 容	説 明	印字例		備考
1	日付+時:分	日付と時刻(24時間制)を印字する	㊿ 0:00	㊿ 13:00	標準文字
2	曜日+時:分	曜日と時刻(24時間制)を印字する月	0:00	月 13:00	標準文字
3	時:分	時刻(24時間制)を横拡大文字で印字する	0:00	13:00	大きな文字
4	AM/PM+時:分	時刻を12時間制で印字する	AM 12:00	PM 1:00	標準文字

※2 週間プログラム

週間プログラムとは、自動でメロディーを演奏したり、外部時報出力をすることができます。設定内容は付属のCD-ROMのなかにある「勤たんQR II取扱説明書」を参照してください。

※3 外部時報の吹鳴時間

外部時報の吹鳴時間は、週間プログラムで外部時報を出力をする設定になっているとき有効となります。



USBメモリを使って「勤たんQR II」での設定をタイムレコーダーに入力しますと、本体での設定変更が禁止されます。

5. 日常の操作



前述の「3. ご使用になる前に」(5ページ)を必ずお読みください。

タイムレコーダーの使い方はきわめて簡単です。タイムカードを挿入していただきますと、カードは本体に自動引込みされ、印字後排出されます。



カード挿入口にクリップ等の金属は絶対に入れないでください。また、カードを無理に押し込まないでください。タイムレコーダーの故障原因となります。

●印字欄、印字段(印字行)とは

印字欄とは……

印字欄とはタイムカードの横方向の印字するマス目のことを言います。

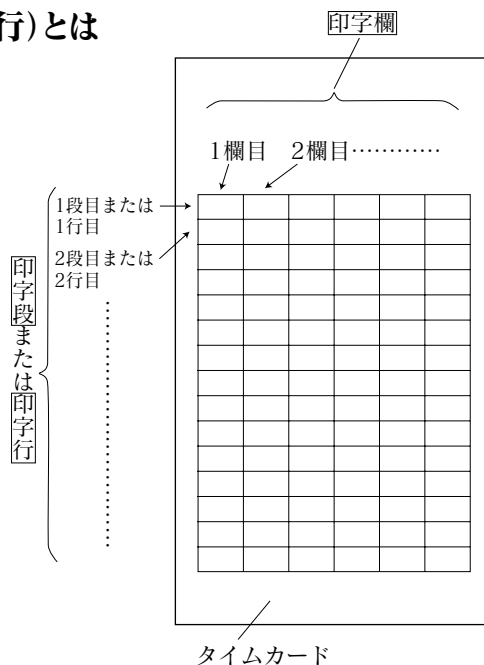
通常、左のマス目より1欄目、2欄目……と呼び、1日の中で、出勤や退勤などの印字する位置を変えたい場合に利用します。

本製品は1～6欄目まで印字することができます。

印字段または印字行とは……

印字段(行)とは、タイムカードの縦方向の印字するマス目のことを言います。

通常、上のマス目より1段目、2段目……または1行目、2行目……と呼び、日が変わると1つ下の段(行)に印字します。



自動的に印字欄が選択されて打刻します

セイコーSYカードを入れると、タイムレコーダーは自動的に印字欄を選択して時刻を印字します。

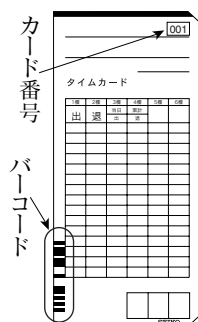
☆6欄印字

08:10:08	18:00				
08:25	12:30	13:02	18:05	19:05	21:07
08:30	12:30	13:10	18:20		



セイコーSYカードのバーコード部分は汚さないようご注意ください。
また、ペン書きしたり付箋などの貼付けも厳禁です。タイムレコーダーがバーコードを読み取れなくなる場合があります。

タイムレコーダーはそれぞれのタイムカードのバーコードを識別しています。



注意

ご使用の際は、タイムカード黒印刷面右上のカード番号が絶対に重複しないようにご注意ください。重複すると印字欄がずれたり打刻回数オーバーなどの原因となります。

注意

セイコーSYカードのカード番号(001番～100番)が重複しない様にご使用ください。カード番号は「勤たんQRⅡ」で個人を識別するための番号として使っています。
これが重複すると正しい管理ができなくなります。

印字したい印字欄に変えるには……

印字したい印字欄の“操作ボタン”を押してから、タイムカードを入れてください。

例えば、「1欄目(出勤)を印字し忘れてしまった」、でも、今は「2欄目(退勤)を印字したい」ときにご利用できます。

なお、この様な場合、USBメモリを用いて、打刻データを「勤たんQR II」に取り込むと、打刻データは1打刻目へ詰まった状態で取り込まれます。印字し忘れがある場合は、「勤たんQR II」へデータを取り込み後、必ず修正してください。

詳しくは付属CD-ROMの中にある「勤たんQR II取扱説明書」を参照してください。

注意

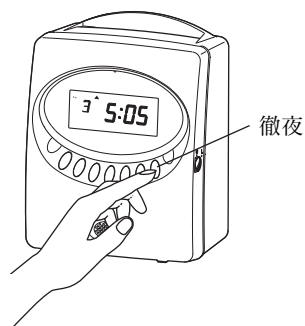
セイコーSYカードでは、タイムカードを認識してカードごとに1欄→2欄→3欄→4欄→5欄→6欄という順で印字欄を選択しています。
例えば、2欄を印字した後に、1欄を印字することはできません。

●徹夜印字をするには

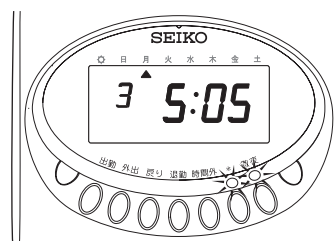
日付切替時刻を過ぎて退勤する場合は、**徹夜**ボタンを押してからタイムカードをカード挿入口に入れます。そうすることにより、出勤日と同じ印字段の6欄目に退勤の時刻を印字することができます。

 「日付切替時刻の設定」(15ページ)をご参照ください。

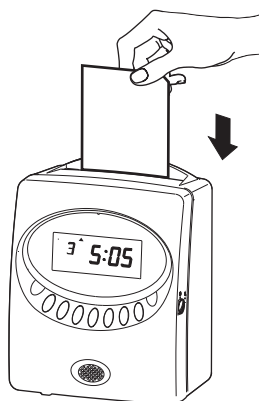
1 **徹夜**ボタンを押します。



2 “徹夜”のランプがつかます。



3 タイムカードをタイムレコーダーに入れます。



4 印字は出勤日と同じ印字段の6欄目に“テ”コメント付きで印字されます。

例 印字パターンが「3.時:分 (大きな印字)」の場合

	1 欄	2 欄	3 欄	4 欄	5 欄	6 欄
1	8:25	12:03	12:58	17:14	17:27	21:05
2	8:38	12:17	21:35	1:08	4:58	5:05テ
3						

徹夜のコメント“テ”が付きます。

6.「勤たんQR II」との連携

「勤たんQR II」とUSBメモリを使ってタイムレコーダーへ設定データを入力したり、タイムレコーダーに記憶された出退勤データをパソコンに転送することができます。

●USBメモリを使って設定を入力する

USBメモリを使って、「勤たんQR II」で設定した設定データをタイムレコーダーに入力することができます。



- USBメモリを使って設定を入力するには、「勤たんQR II」をお手持ちのパソコンへインストールする必要があります。
- 「勤たんQR II」での設定のしかたは付属のCD-ROMの中にある「勤たんQR II取扱説明書」をご覧ください。

●USBメモリに出退勤データを出力する

タイムレコーダーに記憶された出退勤データをUSBメモリに出力することができます。出力されたデータをパソコンに転送することで、「勤たんQR II」で時間計算など勤怠管理をすることができます。



- USBメモリに出力されたデータを管理するには、お手持ちのパソコンに「勤たんQR II」をインストールする必要があります。
- 「勤たんQR II」での出退勤データの管理のしかたは付属のCD-ROMの中にある「勤たんQR II取扱説明書」をご覧ください。

●データ転送の準備

USBメモリを使ってデータ転送をする前に、“カバー”を外して転送できる状態にします。



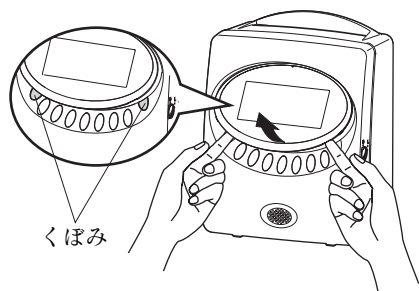
データ転送をする際には、コンセントに電源プラグを差し込み通电した状態で行ってください。



データ転送中は、USBメモリを絶対に抜かないでください。データの破損及びタイムレコーダー本体とUSBメモリの故障の原因となります。

1

カバー下部の左右2ヶ所のくぼみに指を入れ、手前に引くようにしてカバーを外します。



2

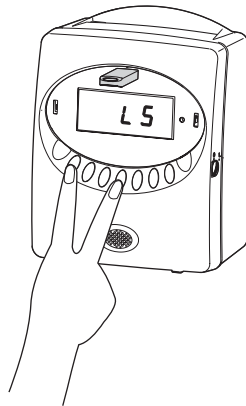
表示画面上部のUSBメモリ差し込み口にお手持ちのUSBメモリを差し込んでください。



注意

特殊な形状のUSBメモリは奥まで差し込めない場合があります。使用しないでください。

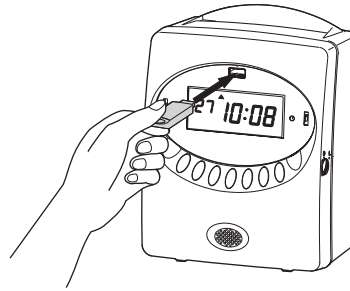
- 3** 操作ボタンを長押しして、転送モードに入ります。
手順の詳細は下記のページをご覧ください。



- 設定を入力する場合は、「設定データの入力手順」(31ページ)をご覧ください。
- データを出力する場合は、「出退勤データの出力手順」(29ページ)をご覧ください。

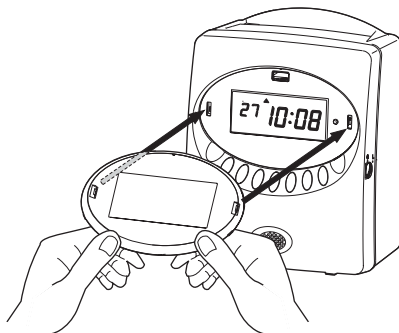
パスワードが設定されていると、パスワード入力が必要となります。
「パスワードを設定した後に他の設定内容を変更するには」(18ページ)をご覧ください。

- 4** 表示画面に「End」が表示されたら、USBメモリを抜いてください。数秒後、自動的に時計表示に戻ります。

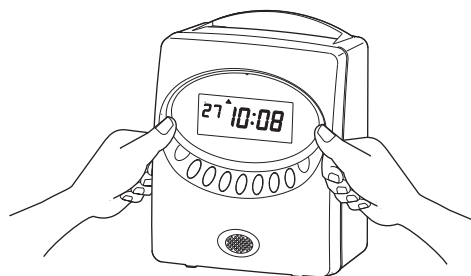


データ転送中は、USBメモリを絶対に抜かないでください。データの破損及びタイムレコーダ本体とUSBメモリの故障の原因となります。

- 5** データ転送後は、カバー裏面にあるフックをタイムレコーダの穴部に差し込みます。



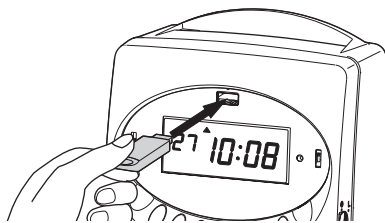
- 6** カバー下部の両端を押さえて、しっかりと押し込みます。



●出退勤データの出力手順 (USBメモリを使います)

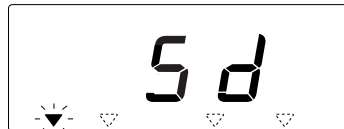
! 出退勤データ出力の前に、「データ転送の準備」(27ページ) を必ずお読みください。

! USBメモリに出力されたデータを管理するには、「勤たんQR II」をお手持ちのパソコンにインストールする必要があります。
 ・「勤たんQR II」での出退勤データの管理のしかたは付属のCD-ROMの中にある「勤たんQR II取扱説明書」をご覧ください。



1 USBメモリを差し込み口に差します。

注意 特殊な形状のUSBメモリは使用できない場合があります。

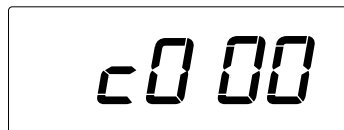


2 「選択」ボタンと「データ出力」ボタンを同時に約3秒間押します。画面に「Sd」と表示されます。

注意 記憶容量の大きいUSBメモリを使うと、データの出力が開始するまでに時間がかかる場合があります。



3 画面に「n000」…「n100」と表示され、データの出力が開始されます。



4 画面に「c000」…「c100」と表示し、USBメモリに出力したデータが、正常に書き込まれたかチェックしています。

! “▼”が点滅してる間、「nXXX」、「cXXX」が表示されている間はデータ転送中ですので、USBメモリを抜かないでください。データの破損及びタイムレコーダー本体とUSBメモリの故障の原因となります。



- ⑤ データの転送が完了すると「End」と表示されます。これで出退勤データの出力が完了しました。

タイムレコーダー本体に出退勤データが入っていない場合、「no」と表示されます。



- ⑥ ご使用状態に戻すため、USBメモリを差し込み口から抜いてください。数秒後、自動的に時刻表示に戻ります。
カバーをつけてご使用ください。

注意

タイムレコーダー本体またはUSBメモリへ保存されたデータが消失、破損したことによる被害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

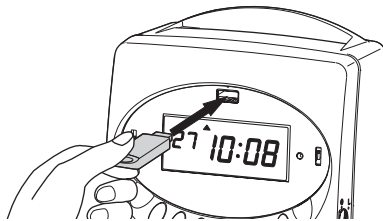
消失、破損したデータの回復作業もお受けしておりませんので、あらかじめご了承ください。

USBメモリの故障に関しましても一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

● 設定データの入力手順 (USBメモリを使います)

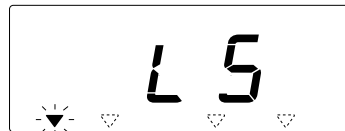
! 設定データの入力の前に、「データ転送の準備」(27ページ)を必ずお読みください。

- USBメモリを使って設定を入力するには、お手持ちのパソコンに「勤たんQR II」をインストールする必要があります。
- 「勤たんQR II」での設定のしかたは付属のCD-ROMの中にある「勤たんQR II取扱説明書」をご覧ください。



1 USBメモリを差し込み口に差します。

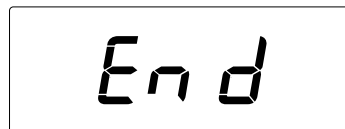
注意 特殊な形状のUSBメモリは使用できない場合があります。



2 「選択」ボタンと「設定入力」ボタンを同時に約3秒間押します。画面に「LS」と表示され、データの転送が開始されます。



“▼”が点滅している間はデータ転送中ですので、USBメモリを抜かないでください。
データの破損及びタイムレコーダー本体とUSBメモリの故障の原因となります。



3 データの転送が完了すると「End」と表示されます。これで転送データの入力が完了しました。

USBメモリに設定データが入っていない場合、「no」と表示されます。
「勤たんQR II」で必要な設定をした上でUSBメモリに設定データを出力してください。



- 4 ご使用状態に戻すため、USBメモリを差し込み口から抜いてください。数秒後、自動的に時刻表示に戻ります。
カバーをつけてご使用ください。

注意

USBメモリを使って「勤たんQR II」での設定をタイムレコーダーに入力しますと、本体での設定変更が禁止されます。

7. 外部時報のつなぎ方

タイムレコーダーに外部時報機器（チャイムなど）を接続してご使用の場合は、外部接点仕様をよくご確認の上、以下の手順で接続してください。

重要！



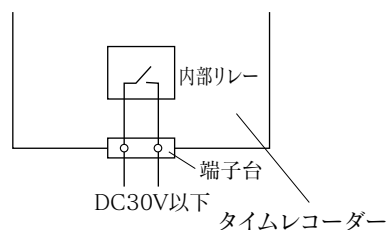
外部時報を吹鳴するための設定は付属のCD-ROMの中にある「勤たんQR II 取扱説明書」を参照してください。

重要！

外部接点仕様

接点出力：無電圧接点出力 1 回路

接点容量：DC 負荷 30V 3.0A以下



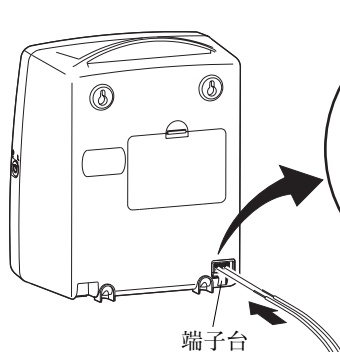
注意



外部時報機器を接続する際に、外部時報機器およびタイムレコーダーの電源コンセントが接続されている場合は、電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。火災、感電の原因になることがあります。



接続した電線は、不用意に抜けないようにタイムレコーダーの近くでクランプ止めなどをして抜けないように固定してください。電線が抜けた場合、火災、感電の原因となる場合があります。



①

外部時報機器およびタイムレコーダーの電源コードが接続されている場合は、電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

②

図のように、端子台の上側のボタンをマイナスドライバーで押しながら、外部時報機器の電線を2本差込みます。

8. メロディーを試聴するには

メロディー試聴モードでメロディーを試聴できます。メロディーは全部で以下の6曲です。

曲番1: ウェストミンスター／Westminster (ビッグベンの鐘)

曲番2: グリーン・スリープス／Greensleeves (イギリス民謡)

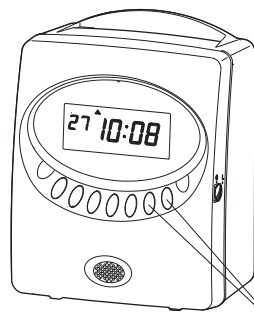
曲番3: 花 (滝廉太郎 作)

曲番4: 思い出／Long Long Ago (Thomas. H. Bayly 作)

曲番5: 埴生の宿／Home, Sweet Home (イギリス民謡)

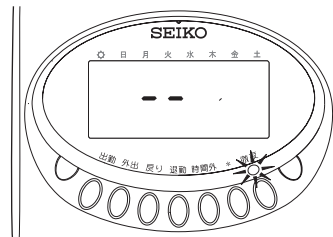
曲番6: ダニー・ボーイ／Danny Boy (アイルランド民謡)

- 1** ※ボタンと徹夜ボタンを同時に3秒
押します。

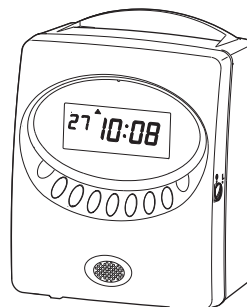
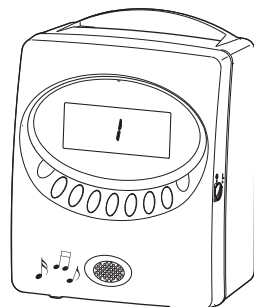


同時に3秒押す

- 2** 徹夜ボタンのランプがついて液晶表示部に “--” が表示して、メロディー試聴モードになります。



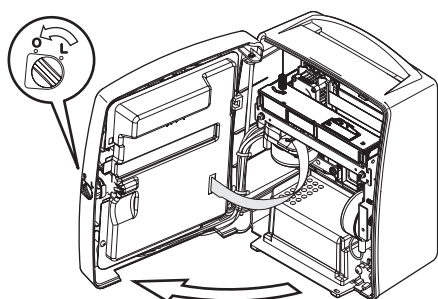
- 3** 徹夜ボタンを押すたびに、曲番が順番に表示されてメロディーが試聴できます。
※ボタンを押すとメロディーの試聴を一旦止めることができ、徹夜ボタンを押すと再び表示されている曲番のメロディーが試聴できます。
出勤、外出、戻り、退勤、時間外ボタンのどれかを押すとメロディー試聴モードからご使用状態に戻ります。



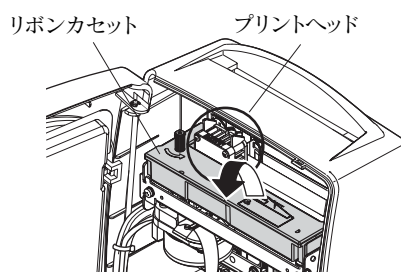
9. リボンの交換

タイムカードに印字される文字がうすくなった場合は、リボンカセットを交換してください。あらかじめ装着されているリボンカセットは、工場出荷時の機能検査用（モニタ印字リボン）です。ご使用時、一部うすく印字される場合がありますのでご了承ください。

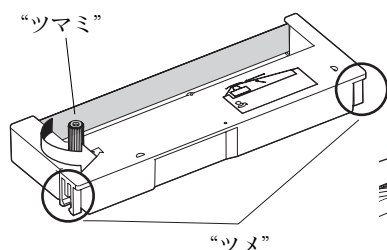
- ①** タイムレコーダー側面にある開閉レバー“O (OPEN)”にして、前扉を開きます。



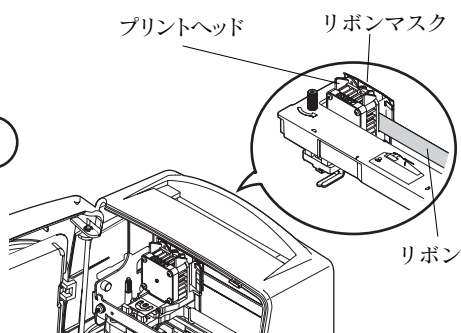
- ②** リボンカセットを上を持ち上げて、取り出します。



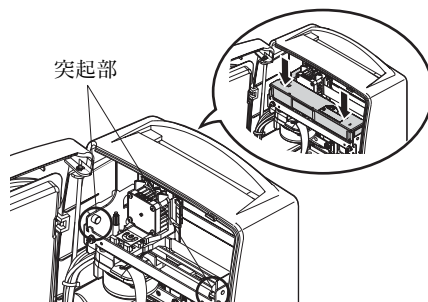
- ③** 新しいリボンカセットのツマミを矢印方向に回して、リボンのたるみをとります。



- ④** リボンマスクとプリントヘッドの間にリボンを入れます。



- ⑤** リボンカセットの下側のツメをタイムレコーダーの突起部に入れて、パチンと音がするまで押し込みます。

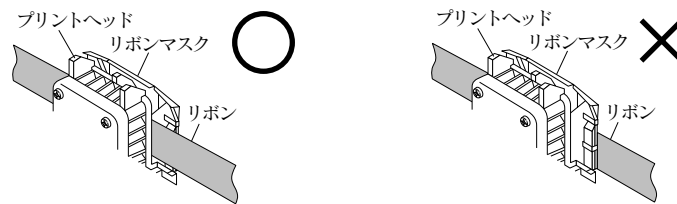


リボン交換時のご注意

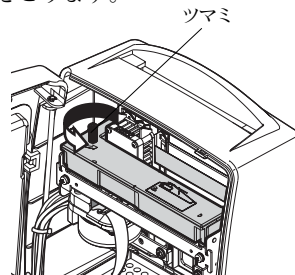
新しいリボンカセットを入れるときには、次のことに注意してください。

下図のようにリボンが、**プリントヘッドとリボンマスクの間に入る**ようにリボンカセットを入れてください。(左側の図)

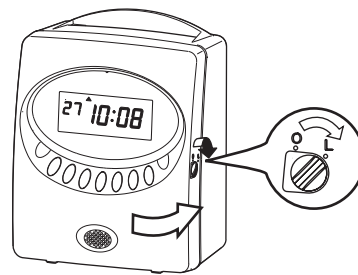
リボンをリボンマスクの奥側にいれてしまうと、正常に印字できません。(右側の図)



- 6** 装着したリボンカセットのツマミを矢印の方向に回して、リボンのたるみをとります。

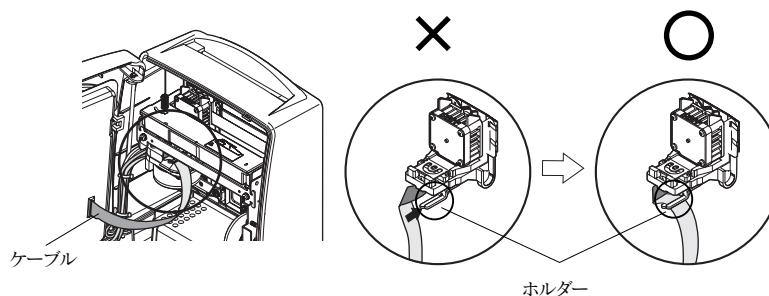


- 7** 前扉を閉め、開閉レバーを“L (LOCK)”に合わせます。



! リボンカセット交換時に、ケーブルに触ったり、プリントヘッドを手で移動させたりしないでください。故障する恐れがあります。

! ケーブルがホルダーからはずれた場合は、図に従って装着してください。はずれたままご使用になると、タイムレコーダーが破損する恐れがあります。



! 前扉を開けたまま、開閉レバーを“L (LOCK)”にしないでください。故障する恐れがあります。

10. Q & A

Q1 違う日にちの段に印字されるのですが、どうすればよいですか？

A1 次の2つをご確認ください。

(1) 締日が違う数値で設定されていませんか。

対処方法→機能設定モードにして、締日を正しい数値に設定してください。



「締日の設定」(13ページ) をご参照ください。

大の月、小の月によらず、月末締めの場合は締日“31”日のまでご利用いただけます。

(2) 日付切換時刻が従業員の勤務している時刻に設定されていませんか。

対処方法→日付切換時刻は、従業員が退勤して誰もいなくなる時間帯で設定してください。



「日付切換時刻の設定」(15ページ) をご参照ください。

Q2 タイムレコーダーが動かなくなったのですが？

A2 タイムレコーダーの側面にある開閉レバーが“O (OPEN)”になっていないかどうかを確認してください。“O (OPEN)”になっていたら、開閉レバーを“L (LOCK)”にしてください。また、前扉が閉じた状態で、開閉レバーが“L (LOCK)”になっていても、動作しない場合は、電源プラグをコンセントから一度抜いて、差し直してみてください。タイムレコーダーの設定状態、USBとのデータ転送状態になっていた場合は、それを終了させてください。それでも、動作しない場合は、販売店もしくは当社までご連絡ください。

Q3 このタイムレコーダーは何人まで使えるのですか？

A3 最大で100人までの管理が可能です。SYカードのカード番号(001番から100番)が重複しない様にご注意ください。重複したカード番号を使用しますと正しい打刻データが、印字・記録できなくなります。

Q4 エラー番号「E-03」(タイムカードの表裏が間違っている)が表示されて、印字ができないのですが？

A4 タイムカードを反対の面にして、タイムカードをタイムレコーダーに挿入してください。また、次の3つをご確認ください。

(1) 締日が違う数値で設定されていませんか。

対処方法→機能設定モードにして、締日を正しい数値に設定してください。

 「締日の設定」(13ページ) をご参照ください。

大の月、小の月によらず、月末締めの場合は締日“31”日のまでご利用いただけます。

(2) 日付切替時刻が従業員の勤務している時刻に設定されていないか。

対処方法→日付切替時刻は、従業員が退勤して誰もいなくなる時間帯で設定してください。

 「日付切替時刻の設定」(15ページ) をご参照ください。

Q5 日付切替時刻を越えて勤務した場合、
出勤と同じ日付に退勤の印字はできませんか？

A5 できます。〔徹夜〕ボタンを押してからタイムカードをタイムレコーダーに挿入してください。出勤日と同じ印字段の6欄目に「テ」のコメント付きで印字されます。

Q6 締日を変えることができません？

A6 「勤たんQR II」でUSBメモリを使って、締日を設定していませんか。この場合、タイムレコーダーのボタン操作で、設定変更ができません。もし変更したい場合は「勤たんQR II」で設定しなおしてください。

Q7 日付切替時刻を変えることができません？

A7 「勤たんQR II」でUSBメモリを使って、締日を設定していませんか。この場合、タイムレコーダーのボタン操作で、設定変更ができません。もし変更したい場合は「勤たんQR II」で設定しなおしてください。



11. こんなときには

エラー番号が表示されたら

以下を参照して正しい操作を行ってください。

番号	エラー内容	対策
E-00	CPUが正しく動きません。	販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-01	メモリー保持用リチウム電池の容量不足です。	
E-03	挿入したタイムカードの表裏が間違っています。	タイムカードの表裏を反対にして挿入してください。
E-05	タイムカードを正しく引き込むことができません。	タイムレコーダー内部にクリップ、付箋紙などの異物やタイムカードが詰まっているか確認してください。
E-15	タイムカードを正しく引き込むことができません。 (カードセンサーエラー)	また、リボンカセットがきちんとセットされているか確認してください。 確認が済みましたら、カバーを閉じてください。 それでもエラー番号が表示される場合は、販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-16	出退勤データが保存できませんでした。	別のカードで打刻できるか確認してください。それでもエラー番号が表示される場合は販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-17	保存用メモリのフォーマットエラーです。	「オールクリア」(21ページ)を実行してください。
E-30	印字ができません。 モータ、またはホームポジションセンサーに異常があります。	タイムレコーダー内部にクリップ、付箋紙などの異物やタイムカードが詰まっているか確認してください。
E-38	印字ができません。 印字のヘッドが正しく動きません。	また、リボンカセットがきちんとセットされているか確認してください。 確認が済みましたら、カバーを閉じてください。 それでもエラー番号が表示される場合は、販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-40	パスワードエラーです。	パスワードを正しく入力してください。
E-49	設定できない値を入力しています。	設定内容を確認して、正しい値を設定してください。
E-50	タイムカードが使用できない状態、またはSY／Yカード以外のカードが使用されています。	セイコーSYカードかどうかを確認のうえ、タイムカードのバーコード部分に汚れや破損がないかを確認してください。
E-51	印字エラーです。	時計を戻すなどしていないか、また、最後の打刻から3秒以内に同じ番号のタイムカードを挿入しなかったか確認してください。
E-52	打刻回数のオーバーです。	6欄まで印字されているか、確認してください。 一度印字した欄またはそれより前の欄も、印字することはありません。
E-57	徹夜指定エラーです。	日付切換時刻を過ぎないと徹夜印字ができません。
E-59	出退勤データに異常があります。	USBメモリに打刻データを収集し「オールクリア」(21ページ)を実行してください。
E-60	USBメモリを正常に制御できませんでした。	USBメモリをパソコンで「勤たんQR II」を使い確認した後、タイムレコーダーの電源プラグをコンセントから一度抜いて、挿し直してみてください。
E-61		
E-62		
E-63		
E-64		
E-65	USBメモリの空き容量が足りません。	USBメモリのデータを削除して空きを確認してください。
E-66	USBメモリ内のQR設定データに誤りがあります。	設定データをもう一度パソコンから入力してください。
E-67	USBメモリに、データの読み出しや書き込みが、できませんでした。	USBメモリが書き込み禁止になっていないか確認してください。 また、タイムレコーダーで使用する設定用ファイルや出力用ファイルが、読み出し専用に設定されていたり、フォルダ名に使用されていないか確認してください。
E-68	USBメモリを認識できませんでした。	タイムレコーダーにUSBメモリが差し込まれていないか、使用できないUSBメモリが差し込まれています。 タイムレコーダーで使えるUSBメモリを差し込んでから、もう一度、操作を行ってください。
E-69	USBへ過電流が流れています。	USBメモリ以外のものが挿入されていませんか。

回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。

12.仕様一覧

時計精度	月差±15秒以内(常温)
カレンダー機能	～2099年 閏年、大小月、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト方式
カード機構	自動引き込み・自動排出
使用タイムカード	セイコー SYカード
メモリー保持機能	工場出荷時より停電累計時間3年間
インターフェイス	USB接続(USBメモリ専用)
印字回数	一日6回印字
使用環境	温度: -5～45℃ 湿度: 20～80%Rh 結露なし 温度が5℃以下の場合には正常に動作しますが、印字濃度、液晶表示の反応は通常使用時に比べて劣ります。
外形寸法	幅172×高さ218×奥行き122mm
質 量	約1.8kg
電 源	AC100V±10% (50/60Hz)
消費電力	通常2.2W、最大25W

タイムカードは指定のセイコーSYカードをご使用ください。とくに、折りたたみ式などの特殊カードをご使用になりますと、機能障害を生じることがあります。

13.別売付属品および消耗品

●タイムカード	セイコー SYカード
●リボンカセット	QR-7550用リボンカセット<型番: QR-10051D>
●カードラック	CR-S10: 10人用 CR-PL10: 追加10人用

セイコープレシジョン株式会社

本 社：〒275-8558 千葉県習志野市茜浜1-1-1
お問合せ先：☎0120-132030
受 付 時 間：9:00～12:00, 13:00～17:00
（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

Q0392-61200